NO. 1
DATE 2012. 8.10

教養講座4

基礎に戻ること → "前進する"ということ。
(本質に戻る)
とても難しいこと。

言葉をたくさん知っている。
≠ 別の問題である!
精神のステージが高い

生井先生の場合。

豆腐を1時間かけて食べる。

シンプルい
原始的生活。

どうしたら高い精神ステージを得られるのか

・シンプルで、原始的な生活
・自分に厳しく生きる。

生活基盤を維持すること。
⇓
思索ができる。

心の中にハングリー精神が必要

ハングリーにならないと人間は根本の根本の指導はできない。

満足している人は人間の根本の根本を考えない。

LOOSE LEAF L1200 7mm×31lines maruman

NO. 2

お金持ちの人

どうやってお金を増やすか ばかり考えている。 — 根本の根本の哲学をしない

→ 目があっても、相当なものを見逃す。

大切なもの

見えていない！

哲学をする人

人のためにすぐにお金をつかう

お金が貯まらない

余計なお金があると哲学のジャマになる。

物質的な物

しかし

大切な見識を養うことができる。

↓

基本に戻り、少し良いことがあっても、有頂天にならない。

例えば、自分自身が大統領などの権力者となったとしても、

謙虚で厳粛な生き方をすること。

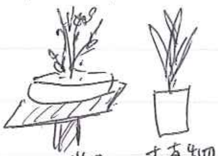
自分自身が在野の精神基盤であること。

公平無私な精神基盤

人民の幸福のための政治を行う必要がある。

ex)

本当の美の見識のない人



いけばな　植物

などに、ぶつかる。

きちんと見ていれば ぶつからない物たち。

古代ローマ

政治家や権力者などが自分自身の利益のために政治を行っていた。

↑

古代ギリシアに影響を受けている。

一般的な古代ギリシアのイメージ → 知の世界

しかし ⇓

現実には、戦争や日常的な暴力があった。

‖

だからこそ"正義"を考えるようになった。

政治ということでみれば古代ローマも古代ギリシアも同じ。

ココがちがう!

ただし
古代ギリシアは
"知"で世界を制した
ギリシア"知"の勝利

古代ギリシアを知の源泉として、
中世、近代、現代において
学ぶ

NO. 4

DATE

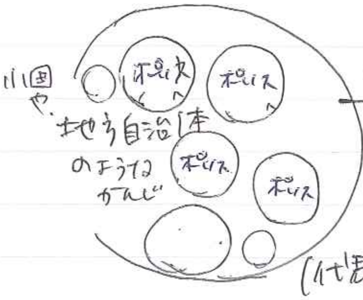
古代ギリシア

ソクラテス
プラトン
アリストテレス

紀元前7世紀頃

よりも前の時代

全域にわたってポリスがあった。
都市国家。



ギリシアの中にポリスは沢山存在した。

(代表 アテナイ、スパルタ など)

ポリスとポリスは日常的に血を流していた。

ポリス → ✕ ← ポリス

この ポリスの中では、暴力はあまりなかった。

なぜなら、

ポリスの人間同士ハルモニアを持っていた。

↓ 都市国家として。

調和の実現と構築がないと維持できない。

⇓

共通概念があった

↑

この源泉がアクロポリスである。

ポリスのシンボルとなった小高い丘のこと。

ex) アテネのパルテノン神殿など

特に、知的水準が高かった。

正義の追求を重んじていた。

↓ どのようにしていたか

当時のギリシアの考えでは、

スコレーが必要である。

- 個人が自由または主体的に使うことができる時間
- 自由に思索活動を行える大事な時間。

当時、スコレーを持つことは、社会的地位の証しでもあった。

労働を奴隷が行っていた。
(通常 2〜3人。)

スコレーを持ち自由に思索をする

実は、スコレーを自分なりに謳歌した人たちが哲学の源泉では？

スコレー → 中世 → スコラ → 現在 スクール

生産ばかりじゃなく暇がないと学問できない

語源

NO. 6

DATE

スコレー

↓

イオニアのミレトスを中心とした
自然科学へとつながる。

アルケー(arche)＝自然の根源

…「アルケーとは何ぞや」から探求がはじまる。

つかみどころのない動向に
ギモンを持ち、そこからはじまった。

＊メモ＊

西洋文明社会において、古代ギリシア時代における最古の哲学者と考えられているのはタレス(Thales, 624?–546? B.C.)である。
＝"自然哲学の創始者"と呼ばれている。

アリストテレスは、哲学の起源をミレトスのタレスに見いだし、タレスを"哲学の創始者"ミレトスを"西洋哲学の発祥の地"と唱えた。

いきなりソクラテスなどの哲学者たちが登場したのではなく、
歴史のプロセスがある。

〈人類の知の歩み〉3つのstageについて考える。

1. Cultivation.　自分自身を教化する、教養する。＞ 高める。

国際化するという意味の internationalization について。

inter　　national　　zation.
間、相互　国の、国家の　～させる。

本来、＞ 国と国に相互関係を築かせる。という意味。

実際、
国と国の間には何もない。

真の意味で言うならば、
philanthropy である。
（人類愛を実現する）

訳「人を愛すること」の意い

地球規模の見識で知を養うこと。

Cultivation.
内在しているものが沢山ある。

internationalization
中身は何もない。

LOOSE LEAF L1200 7mm×31lines maruman

NO. 8

DATE

国際〜と付くと、人々を上辺だけの人間に堕落させる。

ex). 国際政治.
国際関係.
⋮ など

国際 ← そこには何もないのに、人々は喜ぶ
↓
ただの商売となっている。

cultivation.
教化する.
↓
Civilization へ行ける.
文明化. 教養.

internationalization
実体はない

2, Civilization のステージへ.

2 Civilization

文明人 ≠ 文明社会に生まれる.

常に根本、初心、原点に戻り、文明人として
生きていくために思索をしなければならない。

↓

原始生活をすると文明について考える。
原点に戻り自然と対話する.

（自分は何者なのか?）

3. Naturalization のステージへ.

3 Naturalization.

(法) 帰依とする.

(哲) 自然により帰る.
本来の自分に戻る.
違う文明、文化に調和する.

本来の自分が行くべきところへ行き、
自分にとっての自己実現を図る.

人によってちがう.

本来の自分の求める場所をつくる.

naturalization = going back nature.
土にもどる.

NO. 10.

DATE . .

naturalization

ここのステージで行うcultivationは、

高次のcultivation

理性的存在者としてのcultivation.

||

人類愛のためのcultivation.